

令和6年度自己評価

いなほガーデン星の子幼稚園

1. 幼稚園の教育目標

- ・あらゆる環境に能動的に働きかける事ができる心と身体を育てる。
- ・集団生活を通し他者の自由を認める事ができる心を育てる。
- ・自己目標に向かっていける心を育て、自己肯定感を育てる。
- ・リスクという危険を体験し、危機予知能力を高める。

2. 本年度の学校評価の具体的な目標や計画

- ① 園の理念・基本計画を理解し、教育保育に活用する。
- ② 園の運営・管理(分掌内容)を理解し自分の分担の仕事を遂行する。
- ③ 保育計画に基づいて、環境構成や子どもの見取りを工夫し保育を実践する。
- ④ 子どもの安全のための環境の快適さ、清潔さや安全性を確保する。
- ⑤ 保護者対応(相談、連絡、援助)の向上および連携を目指す。
- ⑥ 職員は、研修に対して積極的に参加し、教育・保育の質の向上を目指す。
- ⑦ 研修の資質向上の取り組みをする。
- ⑧ 保育環境の向上を目指す。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取り組み内容	自己評価	評価
園の理念・基本計画を理解し、教育保育に活用	・年間の指導計画や週案の作成 ・学年ごとの協力的な保育指導	園の教育目標を、朝礼、職員会議により全職員で共有をはかった。学年ごとには年間の指導計画や週案の作成、主幹・学年主任を交えた振り返りを行ないつつ、特に新しい職員への啓発に努めた。	A
園の運営・管理(分掌内容)を理解し自分の分担の仕事を遂行	・役割分担の組織表の作成 ・カテゴリーごとにリーダー、サブリーダーを中心に遂行	各自が自分の役割分担を理解することはもちろん、ベテランの職員は他の職員の仕事もフォローでき、行事や、日々の業務を円滑に行うことができた。	A
保育計画に基づいて、環境構成や子どもの見取りを工夫し保育を実践	・「遊び中心の保育」を念頭に保育計画の作成 ・室内環境、園庭環境の工夫	主幹教諭・指導教諭を中心に学年主任・担任副担任へと保育の内容を共有し、話し合い、改善し、子どもが主体的に活動できるような保育計画を立案・実践できた。 環境に外部講師のアドバイスもとりいれ、クラス内の環境改善に努めた。	B

子どもの安全のための環境の快適さ、清潔さや安全性を確保する。	<ul style="list-style-type: none"> ・「かもしれない」の意識で子どもの安全を考え実践する ・常に清潔を意識する。感染症などの対策を意識する 	園内での子ども目線での危険性を考え、クラス内、廊下、階段、棚の上、園庭など事故防止対策を引き続きすすめた。 大きな事故もなく、またとくに感染症対策は、保護者の協力もあり、コロナ、インフルエンザなど例年になく低く抑えられた。	A
保護者対応（相談、連絡、援助）の向上を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・アプリでの保育の様子を週3回送信する ・保護者が相談しやすい環境をつくる 	保護者へ保育の様子以外に行事の動画配信を行った。「保育参加」は継続し、評価はされているが、「参観日」を望む声も一定数ある。子どもの様子を見ることと保護者同士のコミュニケーションの場の提供という理由もあった。また、お泊り会、土曜参観日、給食後降園などの意見も寄せられ、今後の課題としていきたい。	B
職員は、研修に対して積極的に参加し、教育・保育の質の向上を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の質の向上をめざす ・園外研修 ・園内研修 	外部講師による園内研修、札幌市や札幌私幼などの研修に積極的に参加するとともに、園内で実際に実践をするなど、質の向上が図られている。公開保育・ESEQは、令和7年度実施すべく取り組みを行っている。	B

4. 本年度の学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

総合的な評価内容	評価
<p>それぞれの学年において、主体的に遊ぶ、集中して遊ぶ、相手を思いやる気持ちや我慢し協調する気持ちを身につけられてきている。保育者と子どもの関わりがよい方向にいていると思います。前提となる園の安全についても、怪我もすくなく、感染症等もすくなく現状を維持していきます。人事面では、退職者も多く、採用および採用後の教育育成が管理者として不十分であったと感じます。</p> <p>また、地域や保護者との交流についてはまだまだ不十分と感ぜられますので、保護者アンケートを参考に次年度検討していきたいと思います。</p>	C

【評価基準】

A	十分に達成されている
B	ほぼ達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分ではない
D	取り組みが不十分である

5. 今後の取り組むべき課題

- ① 保育について、創意工夫とマンネリ化の防止
- ② 保健・安全については、感染症の予防、園児の見守り、園舎・遊具の維持管理、送迎バスの安全運行
- ③ 職員の研修と園務分掌について、現状の協業の維持と変化する社会への意識改革
- ④ ECEQに基づいた公開保育への取り組み
- ⑤ 保護者・地域の方との連携、情報提供について、園の情報発信および保護者からの要望の検討・実施